

I 調査結果の概要

飲食店営業（中華料理店）

1 一般的事項

(1) 経営主体

調査対象となった747施設について経営主体別にその割合を見ると「個人経営」が60.9%、次いで「有限会社」が20.1%、「株式会社」が18.9%となっている。

また、構成割合を前回の平成16年調査と比べると「個人経営」が5.8ポイント減少したのに対し、「株式会社」では11.0ポイント上昇している。

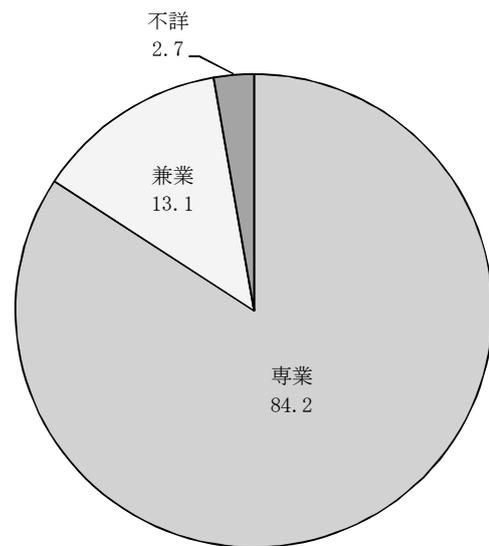
(表1) 経営主体別施設数及び構成割合

区 分		平成12年	平成16年	平成21年
施 設 数	総 数	1,419	682	747
	個人経営	893	455	455
	株式会社	151	54	141
	有限会社	372	171	150
	その他	3	2	1
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	100.0	100.0
	個人経営	62.9	66.7	60.9
	株式会社	10.6	7.9	18.9
	有限会社	26.2	25.1	20.1
	その他	0.2	0.3	0.1

(2) 専業・兼業の別

専業・兼業別に全体の施設数の構成割合を見ると、「専業」が84.2%、「兼業」が13.1%となっている。

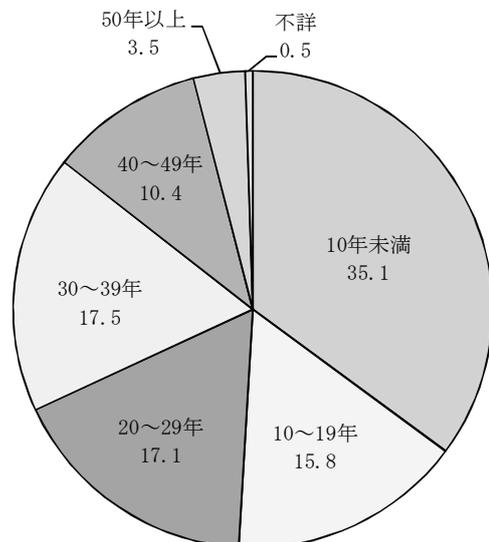
(図1) 専業・兼業別施設数の構成割合(単位:%)



(3) 創業年

創業年別に全体の施設数の構成割合を見ると、「10年未満」が35.1%と最も高く、次いで「30～39年」が17.5%となっている。

(図2) 創業年別施設数の構成割合(単位:%)



(4) 店舗の形態

店舗の形態別に全体の施設数の構成割合を見ると、「単独店（支店を持たない本店）」が75.9%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「個人経営」、「有限会社」において、「単独店」が最も高くなっている。

(表2) 店舗形態、経営主体別施設数及び構成割合

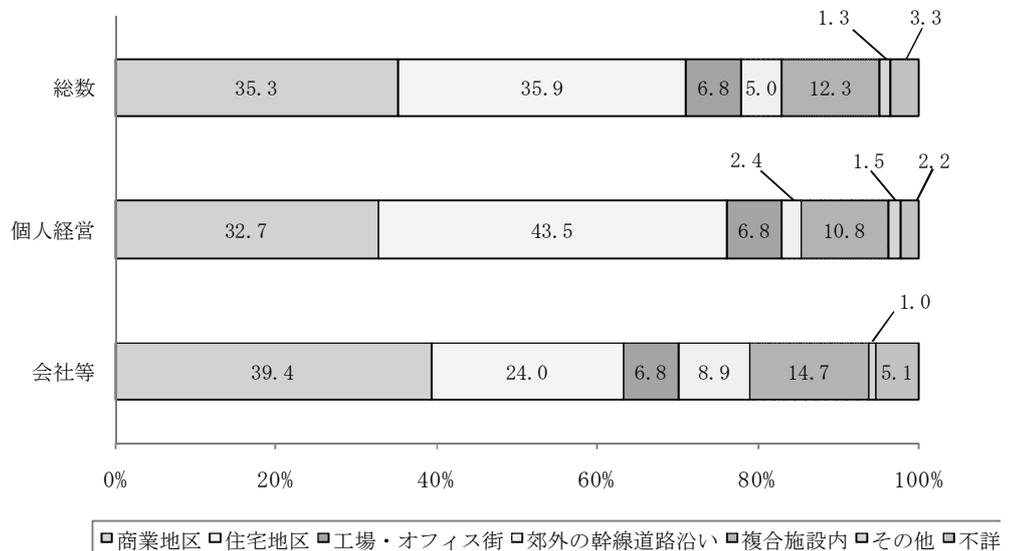
区 分		総数	単独店	本店	支店	不詳
施 設 数	総 数	747	567	66	110	4
	個人経営	455	430	11	12	2
	株式会社	141	43	30	66	2
	有限会社	150	93	25	32	-
	その他	1	1	-	-	-
構 成 割 合 (%)	総 数	100.0	75.9	8.8	14.7	0.5
	個人経営	100.0	94.5	2.4	2.6	0.4
	株式会社	100.0	30.5	21.3	46.8	1.4
	有限会社	100.0	62.0	16.7	21.3	-
	その他	100.0	100.0	-	-	-

(5) 立地条件

立地条件別に全体の施設数の構成割合を見ると、「住宅地区」が35.9%と最も高くなっている。

また、経営主体別に見ると、「個人経営」では、「会社等」に比べ「住宅地区」が高く、「郊外の幹線道路沿い」、「複合施設内」が低くなっている。

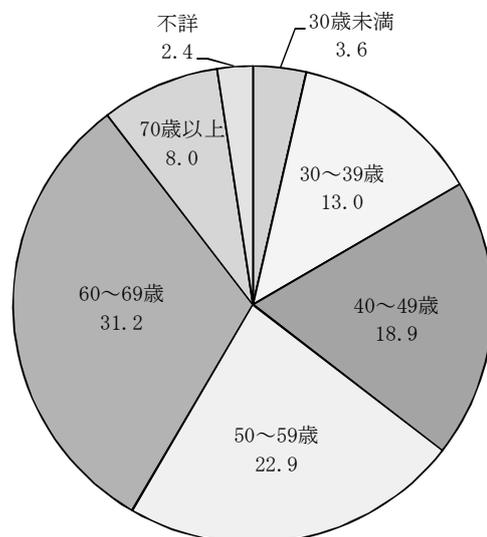
(図3) 立地条件、経営主体別施設数の構成割合



(6) 経営者の年齢

経営者の年齢階級別に全体の施設数の構成割合を見ると、「60～69歳」が31.2%と最も高く、次いで「50～59歳」が22.9%となっている。

(図4) 経営者の年齢別施設数の構成割合 (単位: %)

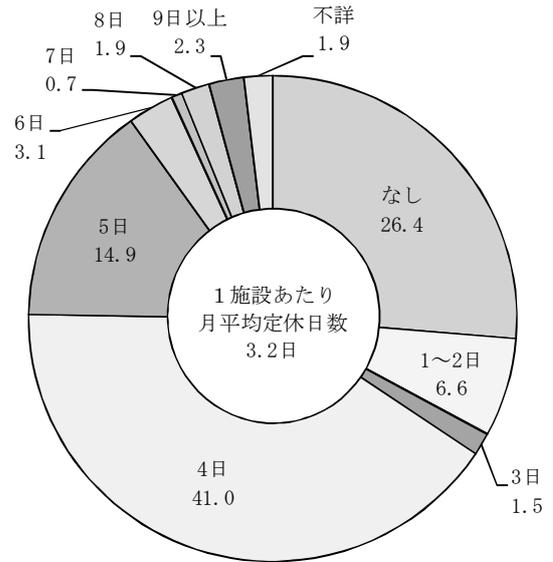


(7) 1ヶ月の定休日数

1ヶ月の定休日別に全体の施設数の構成割合を見ると、「4日」が41.0%と最も高くなっている。

また、1施設あたりの1ヶ月の平均定休日数は3.2日となっている。

(図5) 1ヶ月の定休日数の構成割合 (単位: %)

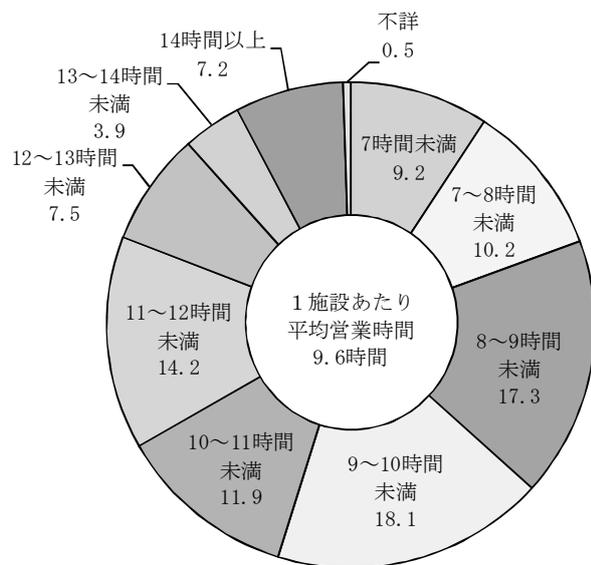


(8) 1日の営業時間

1日の営業時間別に施設数の構成割合を見ると、「9~10時間未満」が18.1%、次いで「8~9時間未満」が17.3%となっている。

また、1施設あたりの平均営業時間は9.6時間となっている。

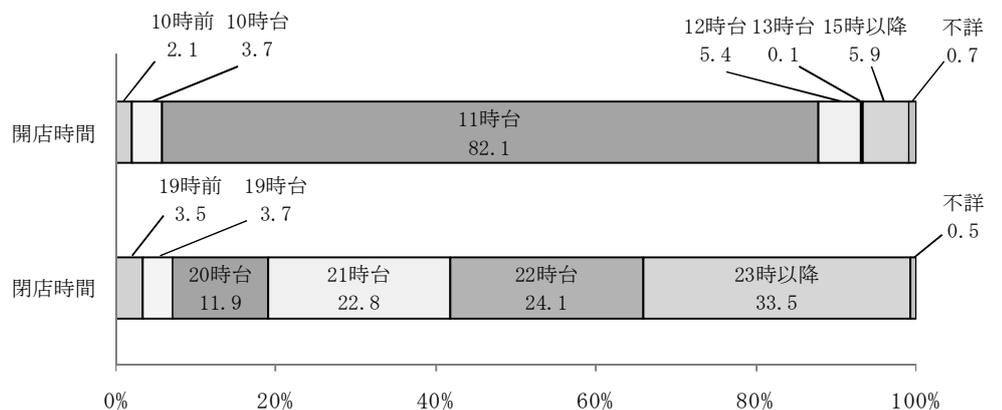
(図6) 1日の営業時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(9) 開店時間と閉店時間

開店時間・閉店時間に施設数の構成割合を見ると、開店時間では、「11時台」が82.1%と最も高く、閉店時間では「23時以降」が33.5%と最も高くなっている。

(図7) 開店時間・閉店時間別施設数の構成割合



2 経営に関する事項

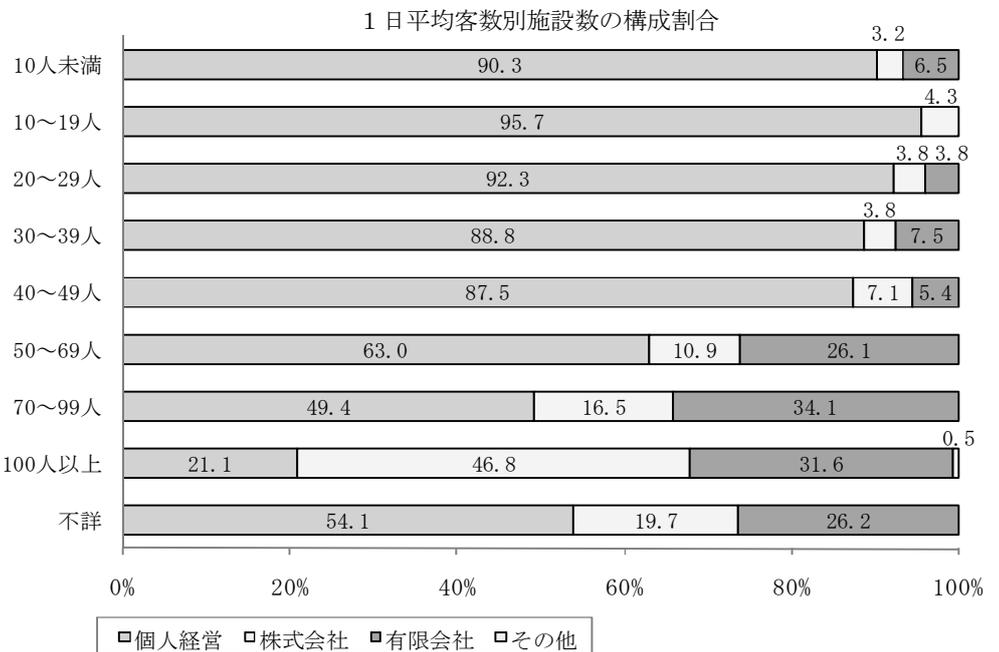
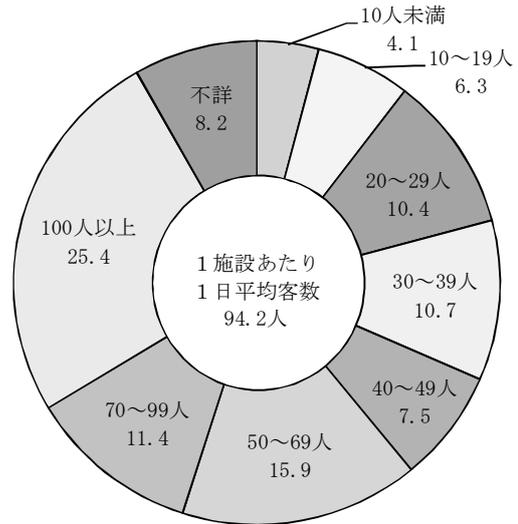
(1) 1日の平均客数と客1人平均食事単価

1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「100人以上」が25.4%と最も高く、次いで「50～69人」が15.9%、「70～99人」が11.4%となっており、1施設あたりの1日平均客数は94.2人となっている。

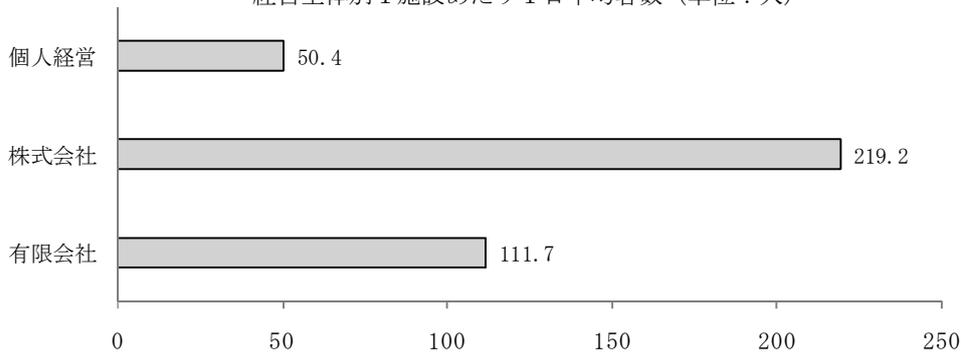
また、経営主体について、1日平均客数別施設数の構成割合を見ると、「個人経営」では「10～19人」が95.7%と最も高く、「株式会社」では「100人以上」が46.8%、「有限会社」においては「70～99人」が34.1%となっており、1施設あたりの1日平均客数が最も多いのは「株式会社」で、219.2人となっている。

次に、経営主体別に客1人平均食事単価を見ると、「株式会社」が1,243円と最も高く、「個人経営」の883円に対して、約360円高くなっている。

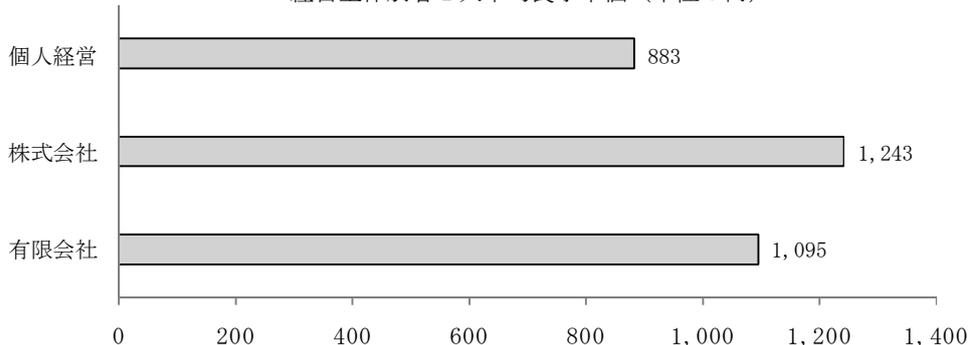
(図8) 1日平均客数の構成割合 (単位: %)



経営主体別1施設あたり1日平均客数 (単位: 人)



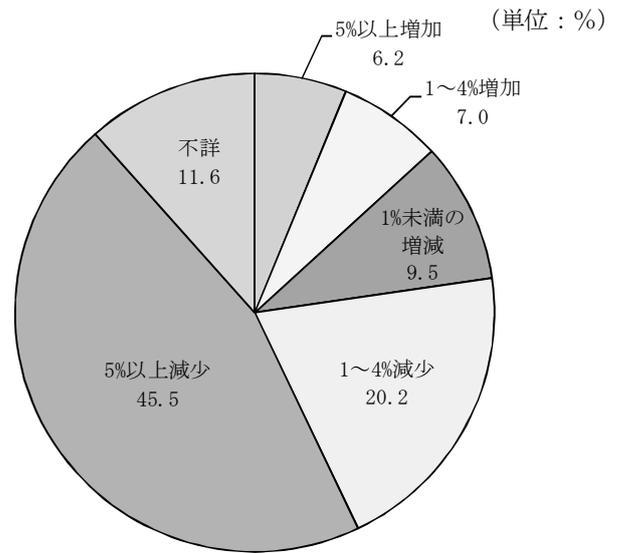
経営主体別客1人平均食事単価 (単位: 円)



(2) 前年度と比較した今年度の売上

前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合を見ると、「5%以上減少」が45.5%と最も高く、次いで「1~4%減少」が20.2%となっており、1%以上減少している施設は、全体の6割以上を占めている。

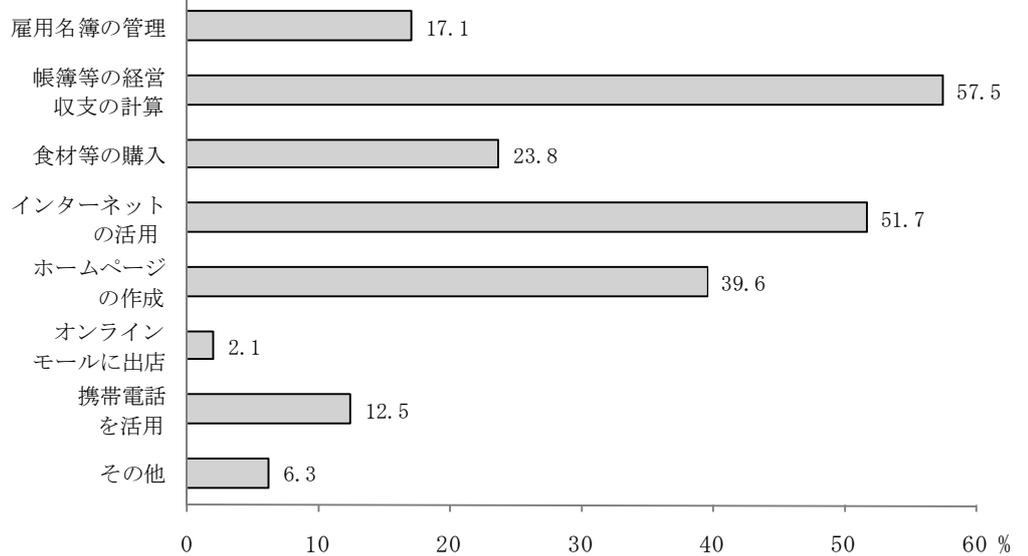
(図9) 前年度と比較した今年度の売上の施設数の構成割合



(3) パソコン等の導入状況

パソコン等の導入状況別施設数の割合を見ると、「帳簿等の経営収支の計算」が57.5%、「インターネットの活用」が51.7%、「ホームページの作成」が39.6%と高くなっている。

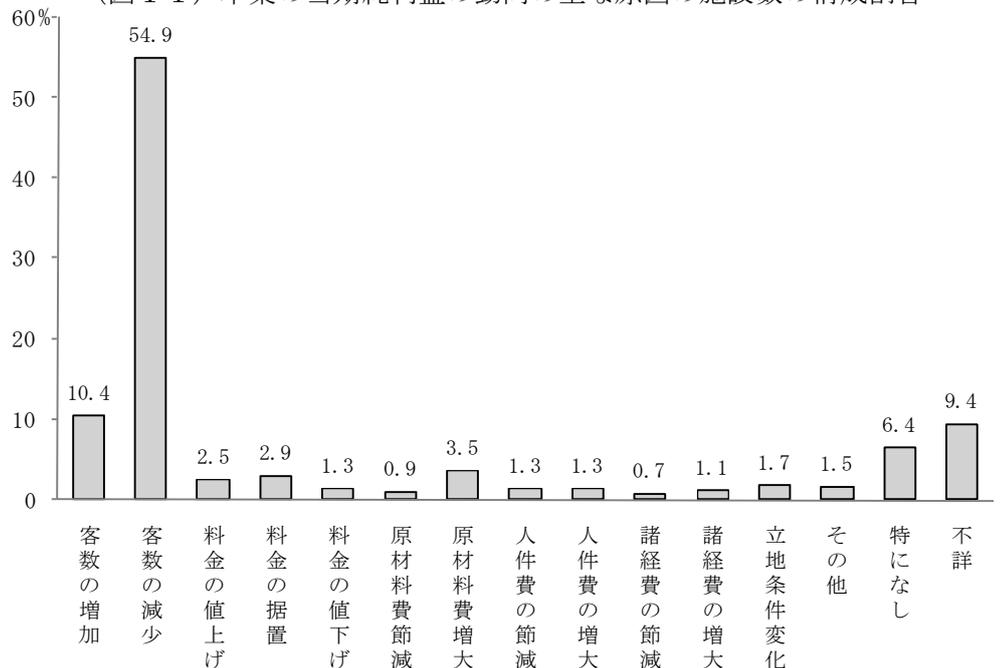
(図10) パソコン等の導入状況別施設数の構成割合(複数回答)



**(4) 本業の当期純利益の
動向の主な原因**

当期純利益の動向の主な原因を見ると、「客数の減少」が54.9%となっており、それ以外の原因と比べ極端に高くなっている。

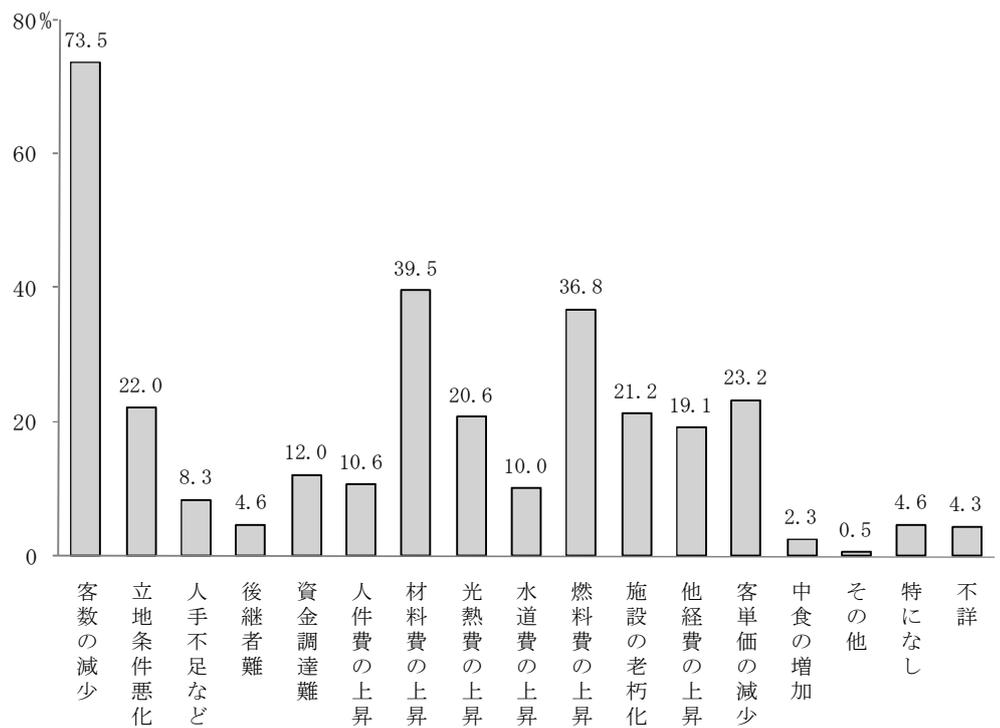
(図11) 本業の当期純利益の動向の主な原因の施設数の構成割合



(5) 経営上の問題点

経営上の問題点別に施設数の割合を見ると、「客数の減少」が73.5%、「材料費の上昇」が39.5%、「燃料費の上昇」が36.8%、「客単価の減少」が23.2%と高くなっている。

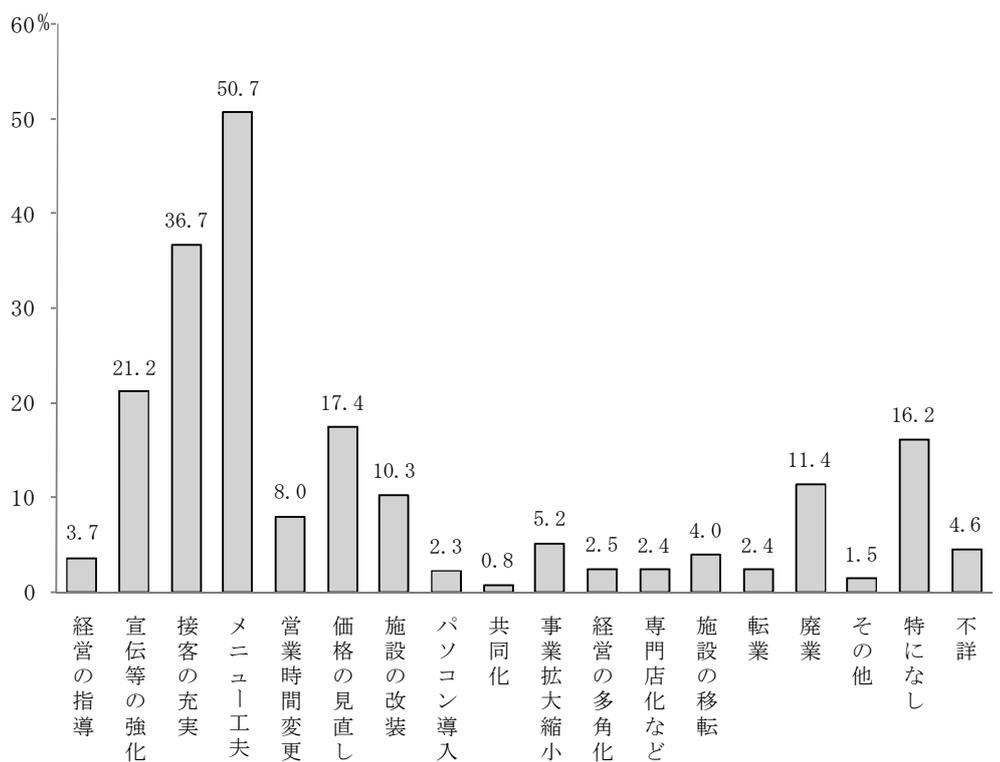
(図12) 経営上の問題点別施設数の構成割合 (複数回答)



(6) 今後の経営方針

今後の経営方針別に施設数の割合を見ると、「食事メニューの工夫」が50.7%、「接客サービスの充実」が36.7%、「広告・宣伝等の強化」が21.2%と高くなっている。

(図13) 今後の経営方針別施設数の構成割合 (複数回答)



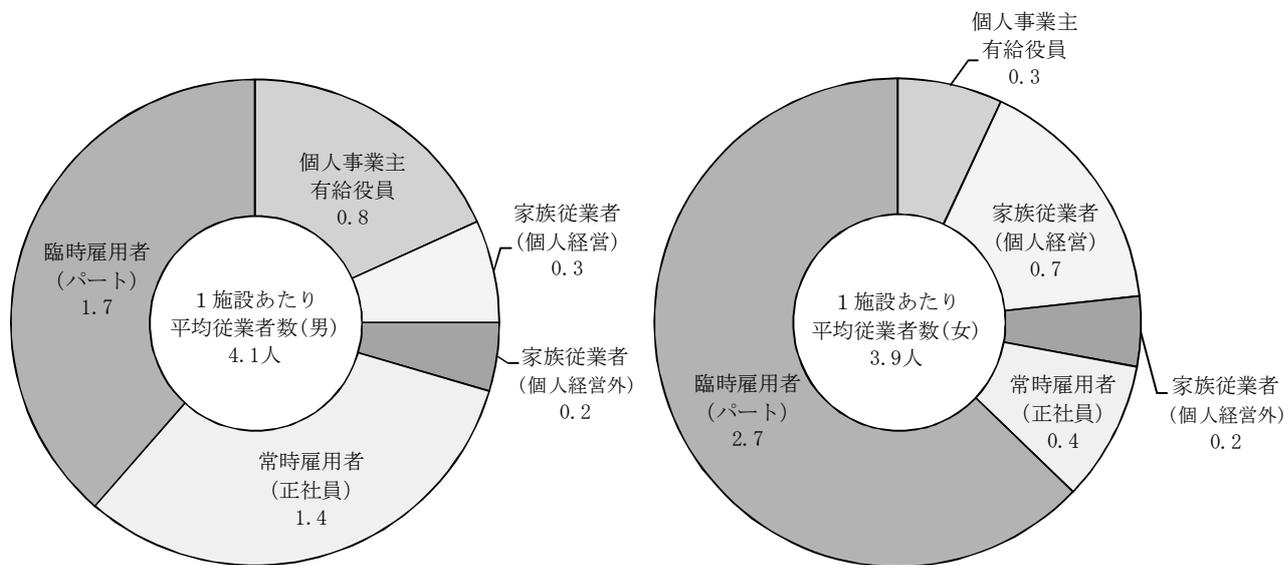
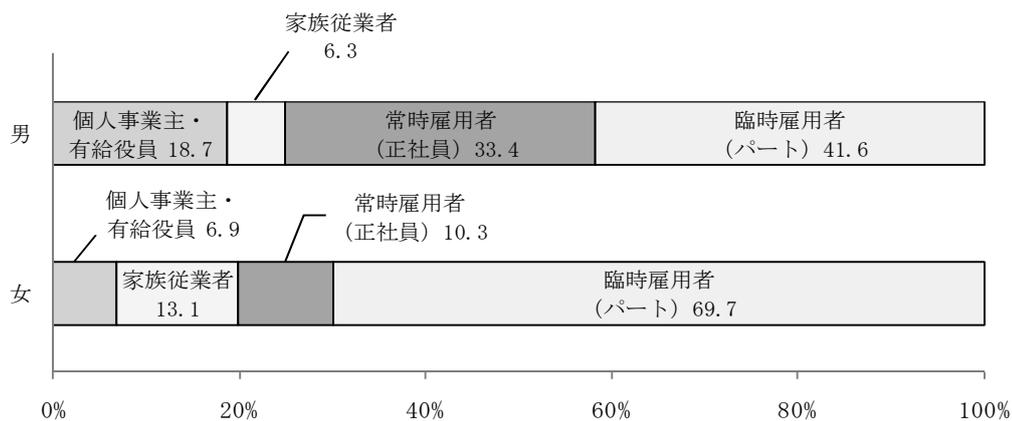
3 従業者に関する事項

(1) 従業者数

従業者数の1施設あたり平均従業者数を見ると、男性4.1人、女性3.9人となっている。

また、雇用形態の構成割合を見ると、男性、女性ともに「臨時雇用者（パート）」がそれぞれ41.6%、69.7%と最も高くなっている。

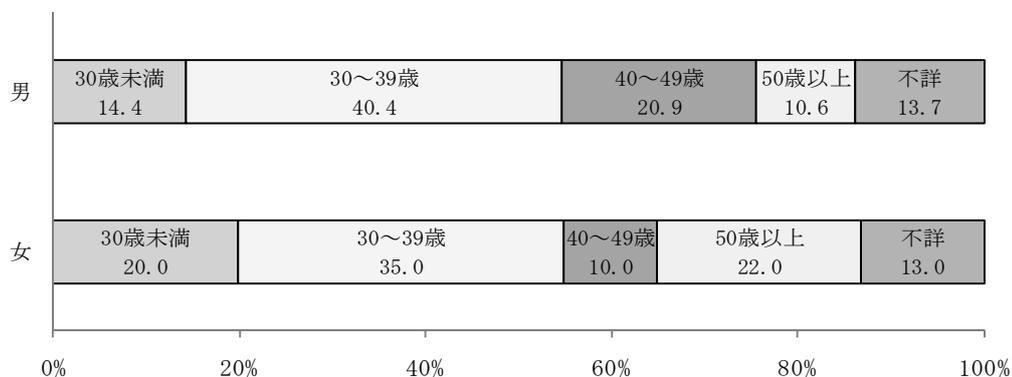
(図14) 従業者数、雇用の形態別従業者の構成割合



(2) 常時雇用者の性別年齢

常時雇用者（正社員）の性別平均年齢別施設数の構成割合を見ると、男性は「30～39歳」が40.4%、女性も「30～39歳」が35.0%と最も高くなっている。

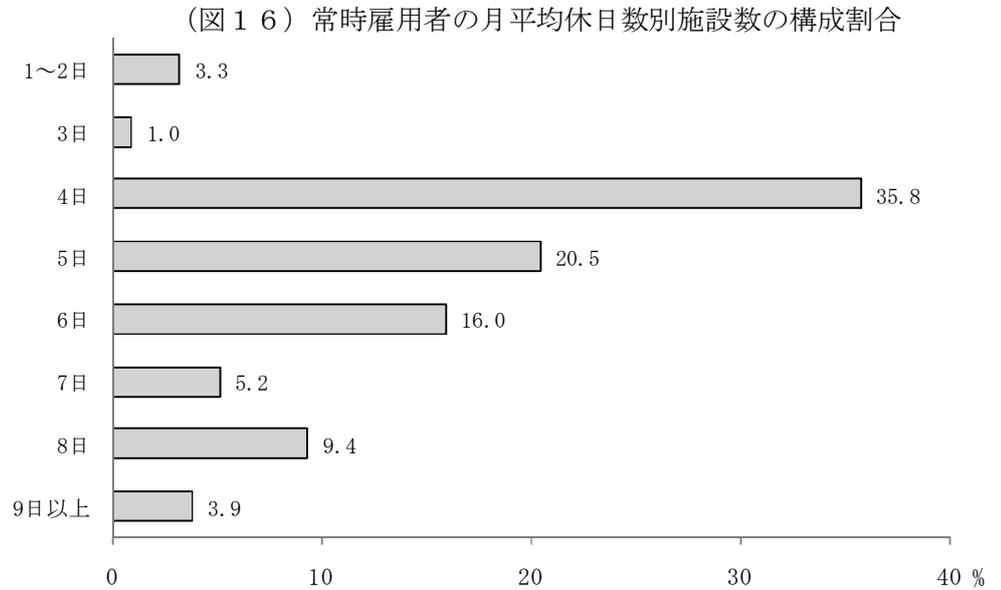
(図15) 常時雇用者の性別平均年齢別施設数の構成割合



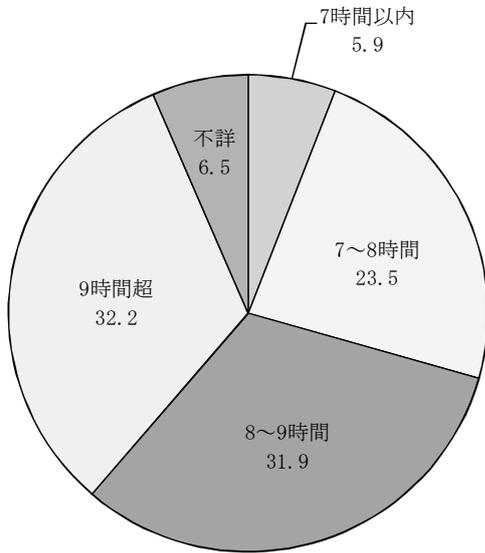
(3) 常時雇用者のいる施設の月平均休日数の月平均休日数

常時雇用者（正社員）がいる施設の1ヶ月の平均休日数は、「4日」が35.8%と最も高く、次いで「5日」が20.5%、「6日」が16.0%となっている。

また、1施設あたり平均休日日数は3.2日となっている。



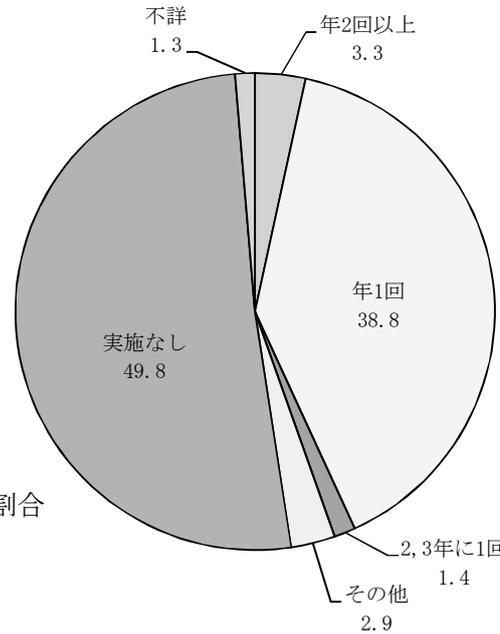
(図17) 常時雇用者の1日平均労働時間別施設数の構成割合 (単位: %)



(4) 常時雇用者のいる施設の1日平均労働時間

常時雇用者（正社員）の1日の平均労働時間は、「9時間超」が32.2%と最も高くなっている。

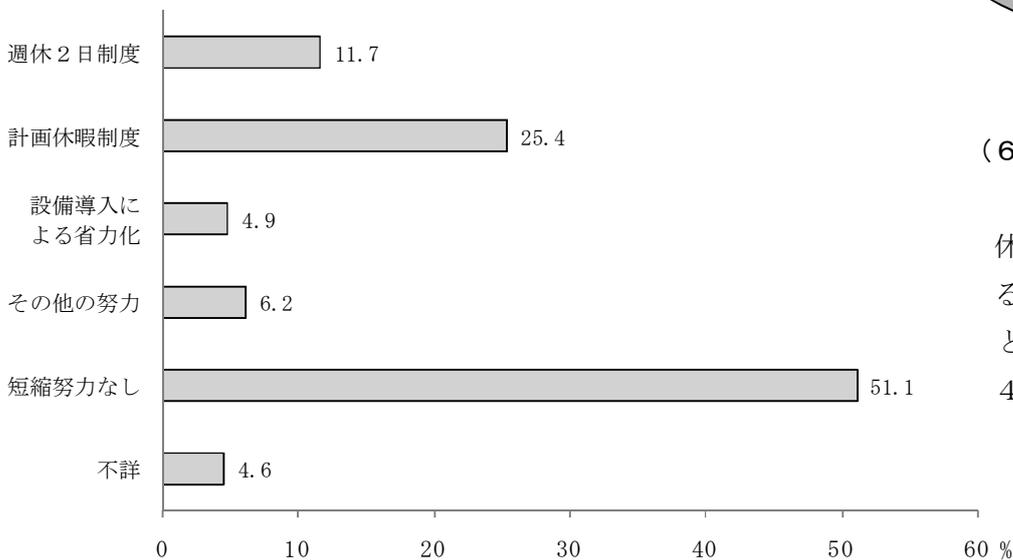
(図18) 健康診断の実施状況別施設数の構成割合 (単位: %)



(5) 健康診断の状況

健康診断の実施状況についての構成割合を見ると、「実施なし」が49.8%と最も高くなっており、次いで「年1回」が38.8%となっている。

(図19) 労働時間短縮のための努力別施設数の構成割合



(6) 労働時間短縮のための努力

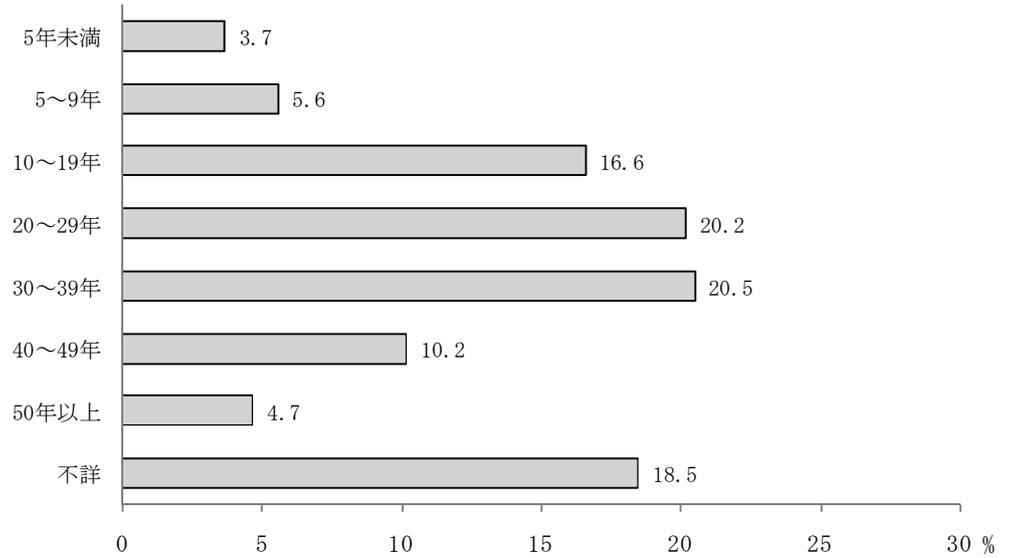
労働時間短縮のための努力（休暇制度や設備面等）をしている施設について、内容別に見ると、「計画休暇制度」が25.4%と高くなっている。

4 土地、建物及び設備等に関する事項

(図20) 建物の築年数別施設数の構成割合

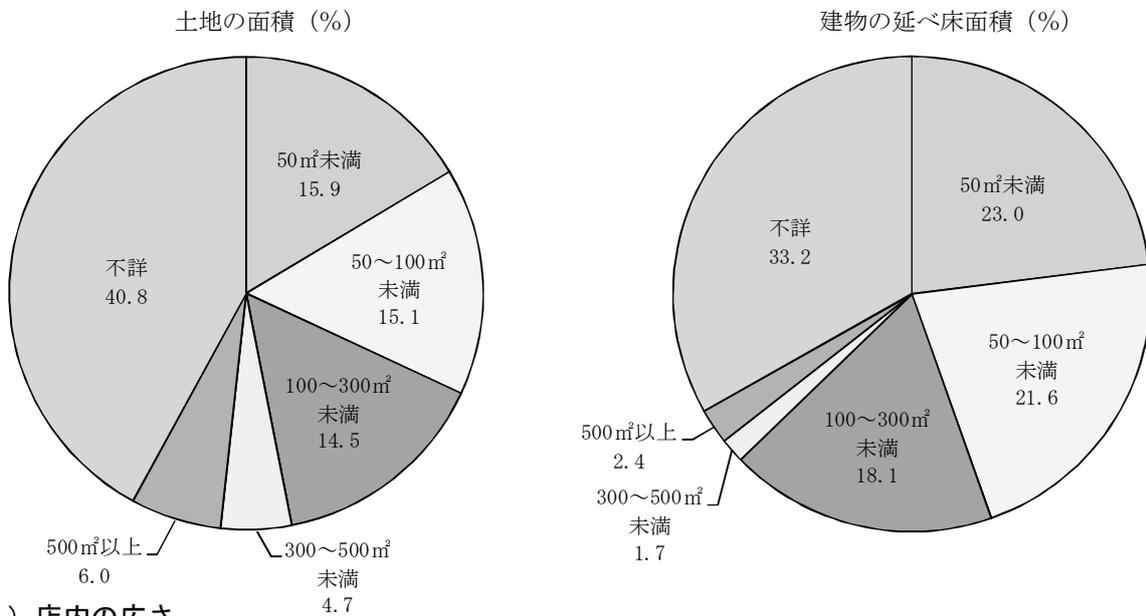
(1) 建物の築年数

建物の築年数別施設数の割合を見ると、「30～39年」が20.5%と最も高く、次いで「20～29年」が20.2%、「10～19年」が16.6%となっている。



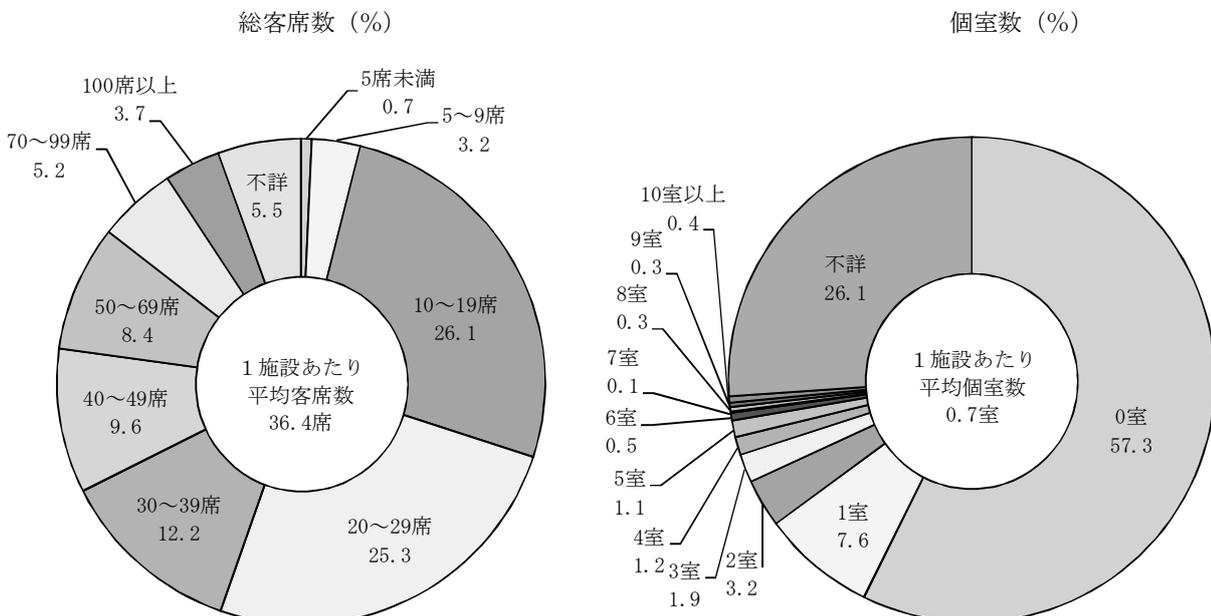
(2) 土地・建物の面積

(図21) 土地・建物の面積別施設数の構成割合



(3) 店内の広さ

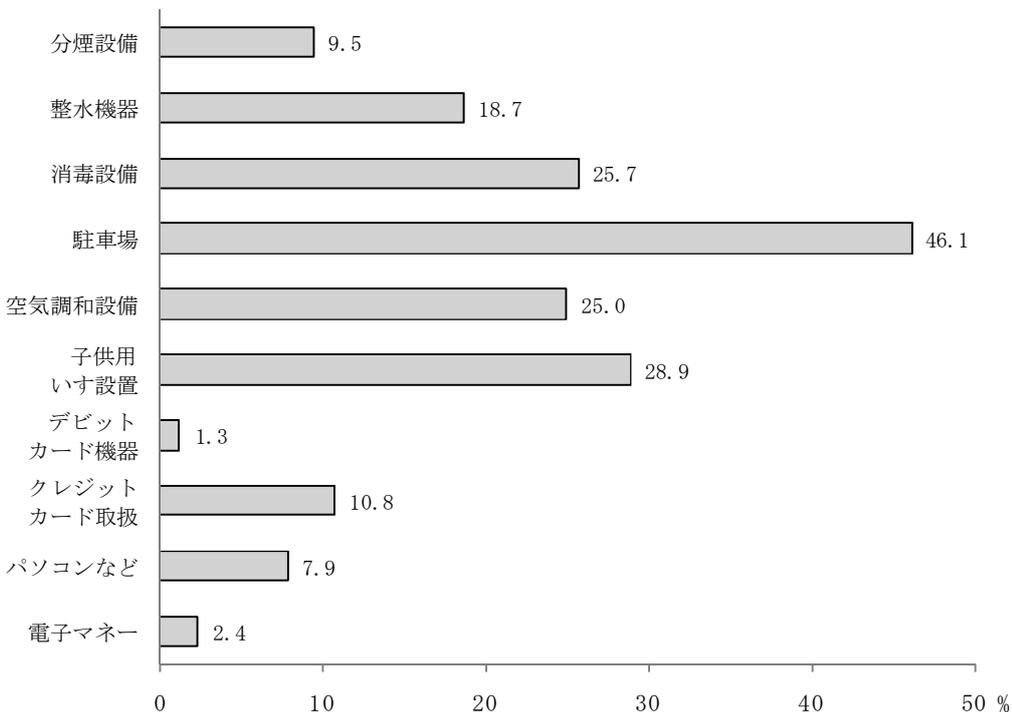
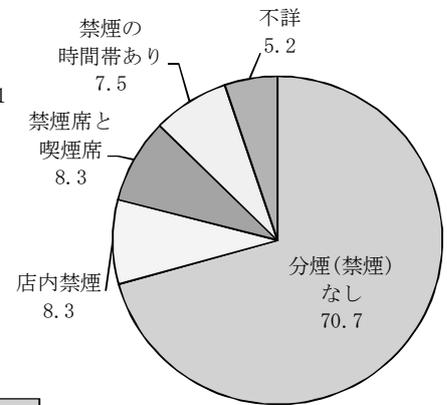
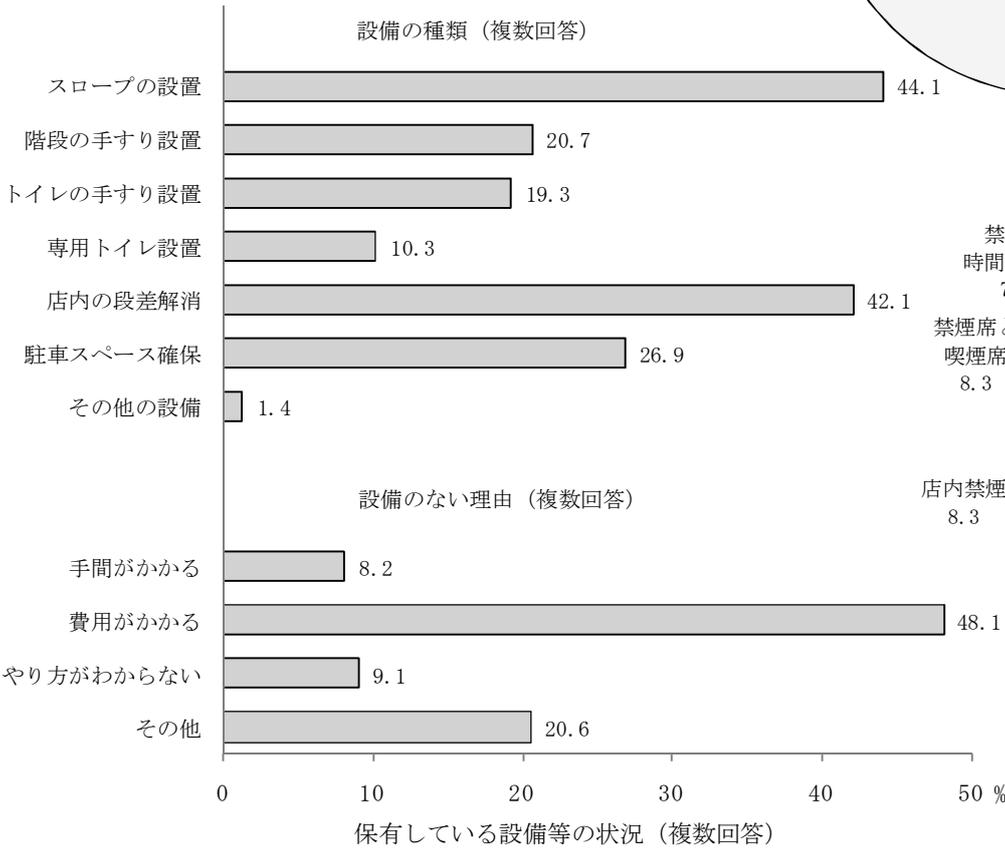
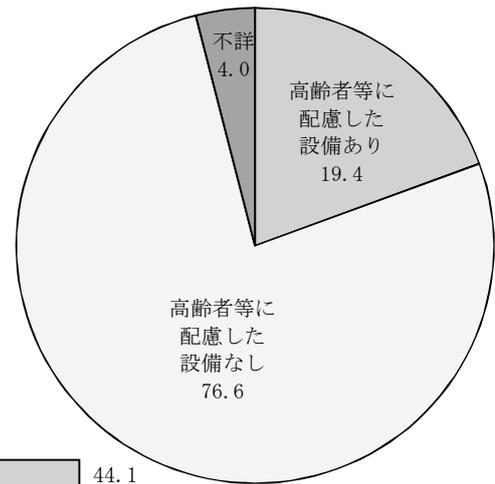
(図22) 総客席数・個室数別施設数の構成割合



(4) 設備等の状況

(図23) 設備投資実績の有無別施設数の構成割合 (単位: %)

高齢者等に配慮した設備の状況について割合を見ると、「あり」が19.4%で設備の種類としては、「出入口や廊下にスロープの設置又は段差の解消」が44.1%と高くなっている。また、保有している設備等の状況については、「駐車場」が46.1%、次いで「子供用のいすの設置」が28.9%と高くなっている。



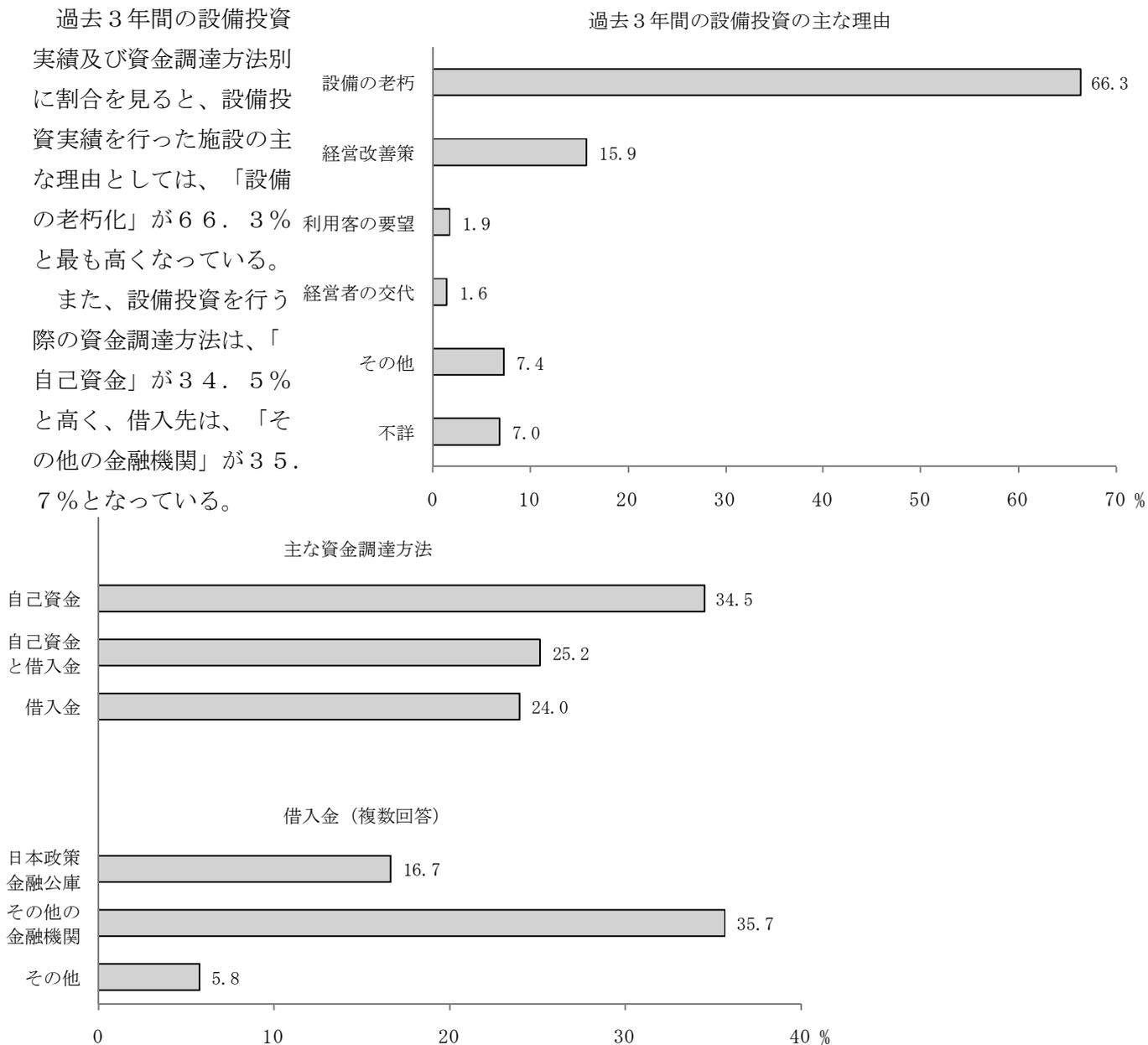
5 設備投資等に関する事項

(1) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法

過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資実績を行った施設の主な理由としては、「設備の老朽化」が66.3%

と最も高くなっている。また、設備投資を行う際の資金調達方法は、「自己資金」が34.5%と高く、借入先は、「その他の金融機関」が35.7%

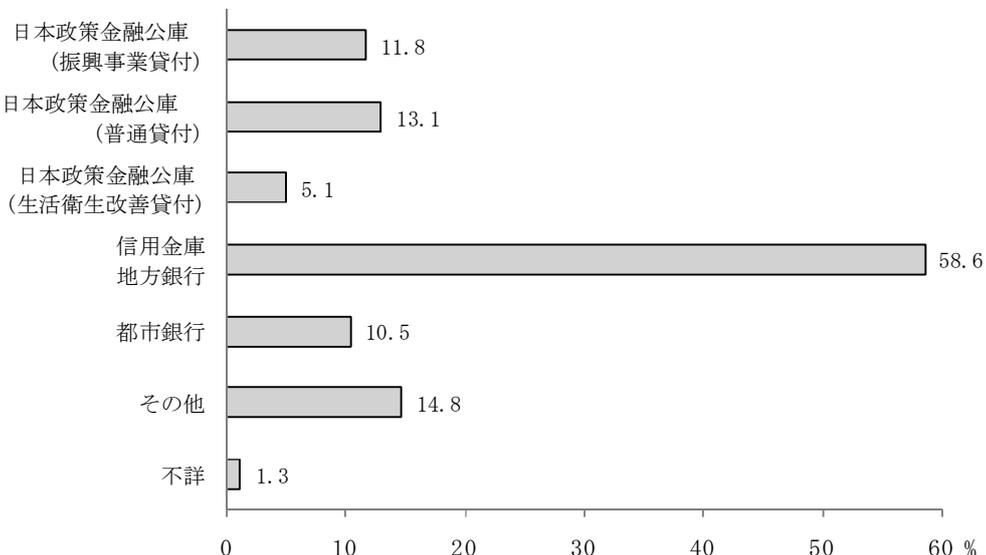
(図24) 過去3年間の設備投資実績及び資金調達方法別施設数の構成割合



(図25) 過去3年間の運転資金調達方法別施設数の構成割合 (複数回答)

(2) 過去3年間の運転資金調達方法

過去3年間の運転資金調達方法別に割合を見ると、「信用金庫・地方銀行」が58.6%と最も高く、次いで「その他」が14.8%



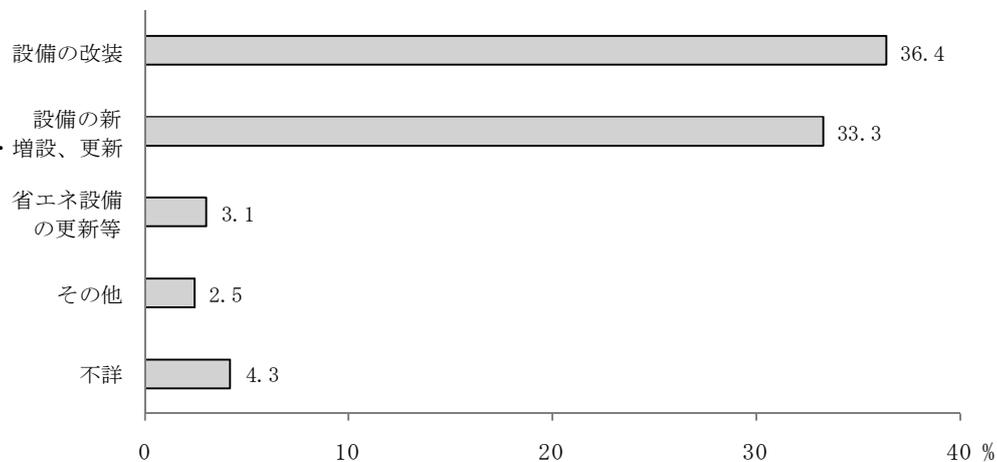
(3) 向こう3年間の設備投資予定

向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別に割合を見ると、設備投資を行う予定の施設の内容としては、「設備の改装」が36.4%、理由としては「設備の老朽化」が54.3%と最も高くなっている。

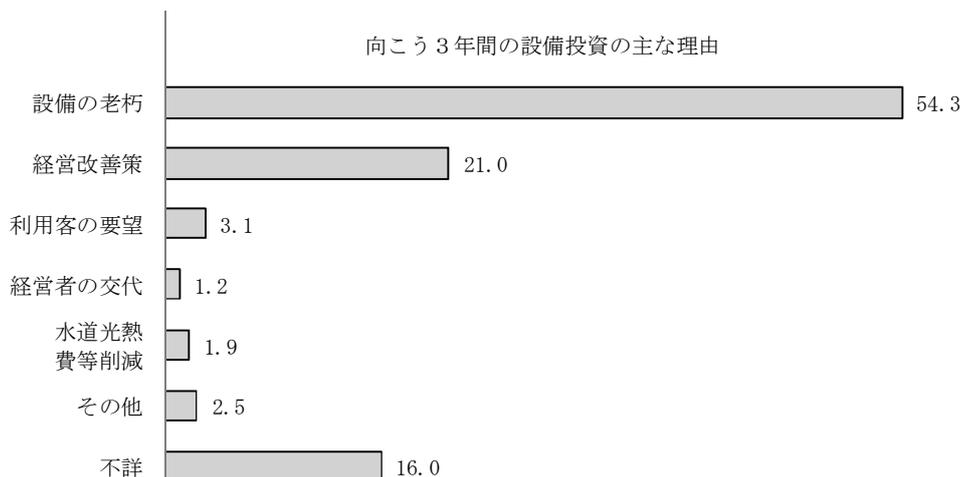
また、借入先は、「自己資金」が32.1%と最も高くなっている。

(図26) 向こう3年間の設備投資予定及び資金調達方法別施設数の構成割合

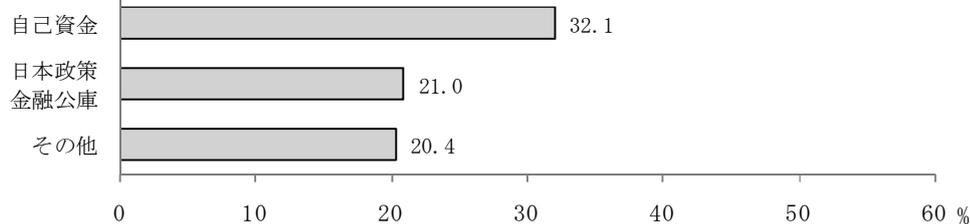
向こう3年間の設備投資の主な内容



向こう3年間の設備投資の主な理由



借入金 (複数回答)



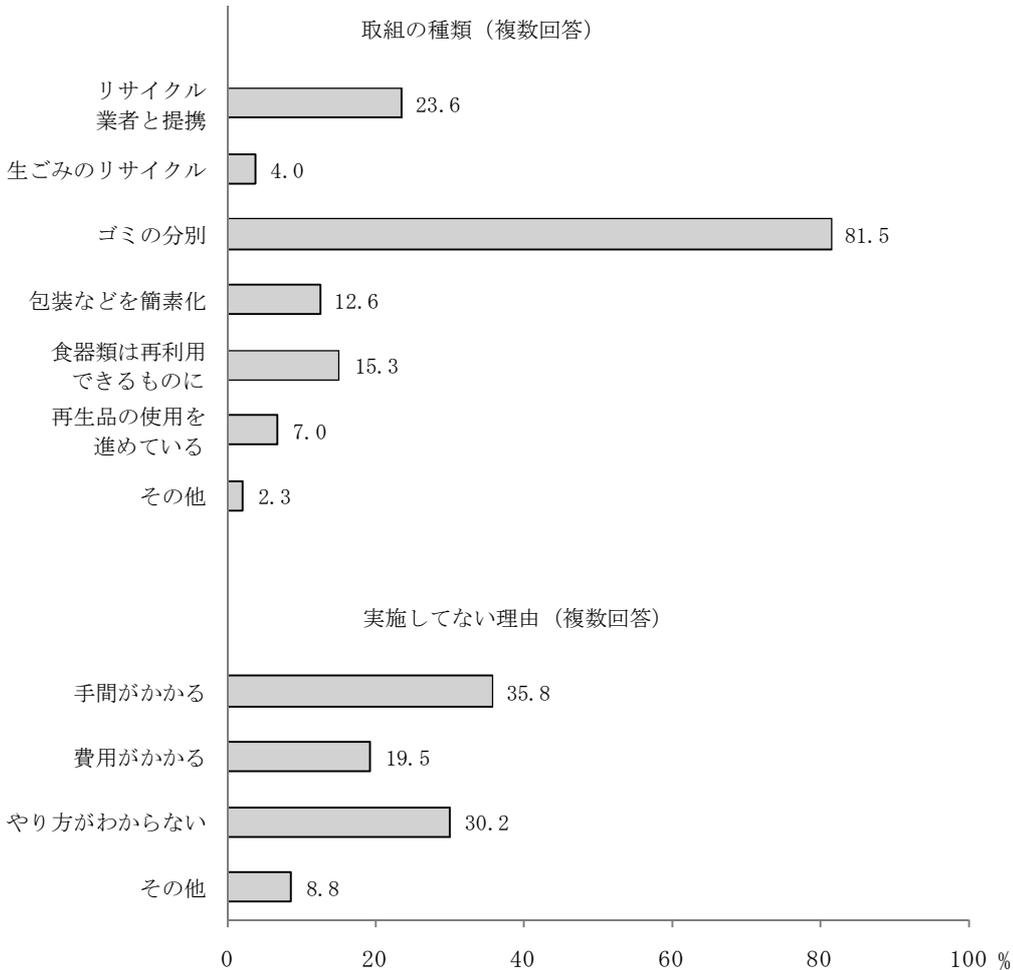
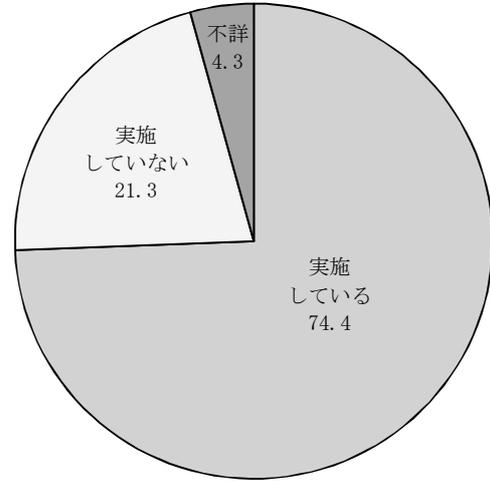
6 サービス関係の項目

(1) ゴミ減量化・リサイクル実施状況

ゴミ減量化・リサイクル実施状況について割合を見ると、「実施している」が74.4%で取組の種類としては、「ゴミの分別をしている」が81.5%、次いで「食品等リサイクル業者と提携している」が23.6%となっている。

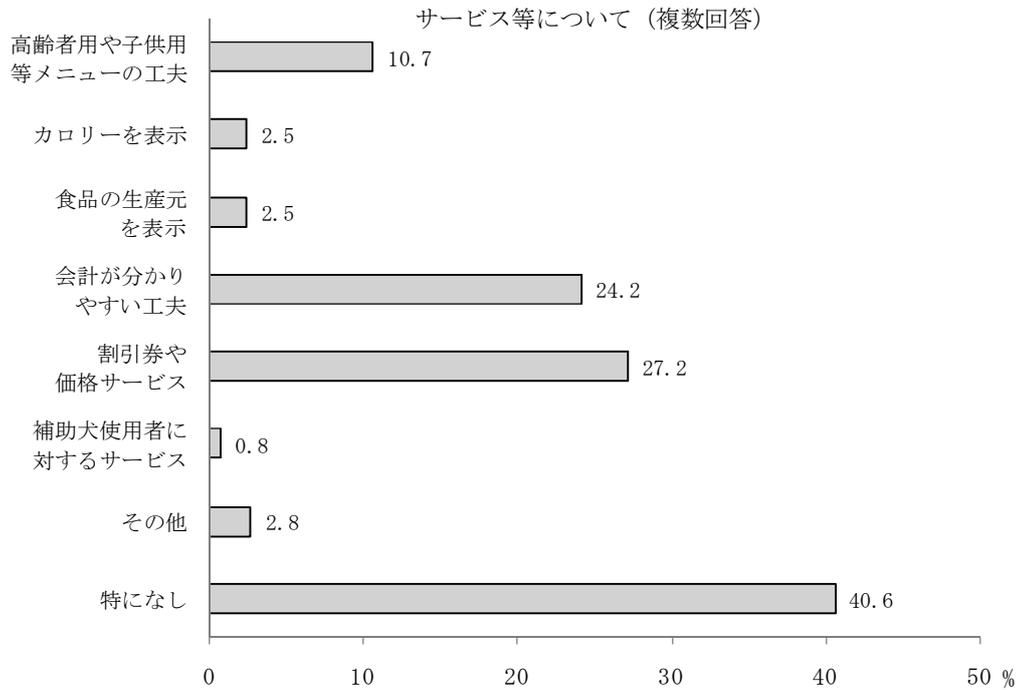
(図 2 7) サービス等内容別施設数の構成割合

ゴミ減量化・リサイクル実施状況 (単位: %)



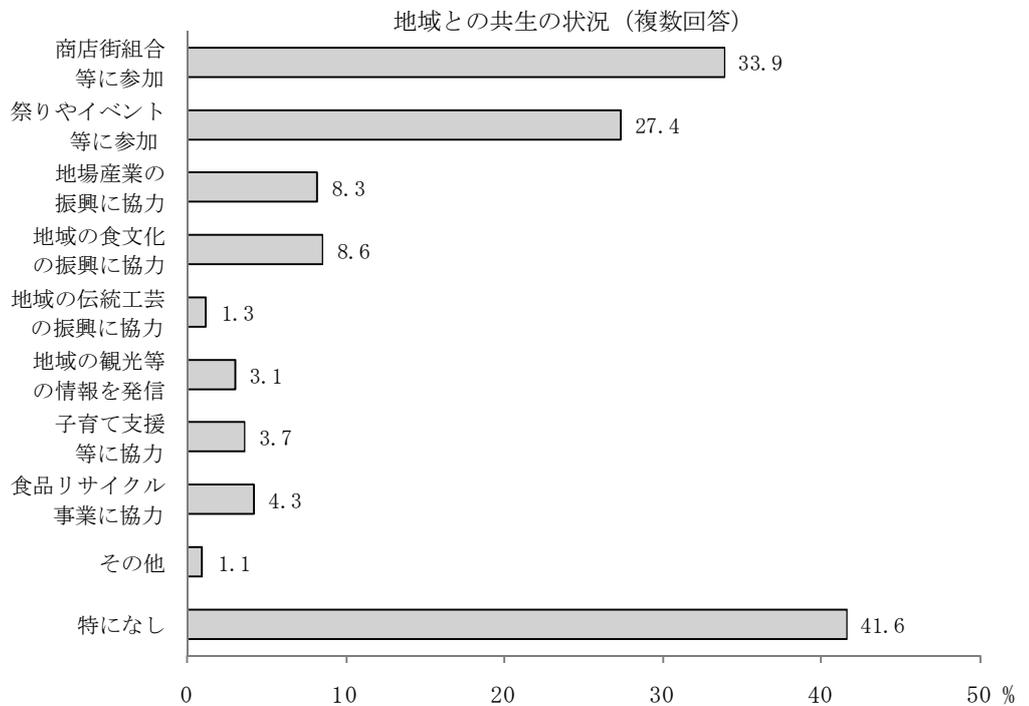
(2) サービス等について

サービス等の実施状況について割合を見ると、「割引券や特定日等の価格サービスをしている」が27.2%、次いで「会計が分かりやすい工夫をしている」が24.2%となっている。



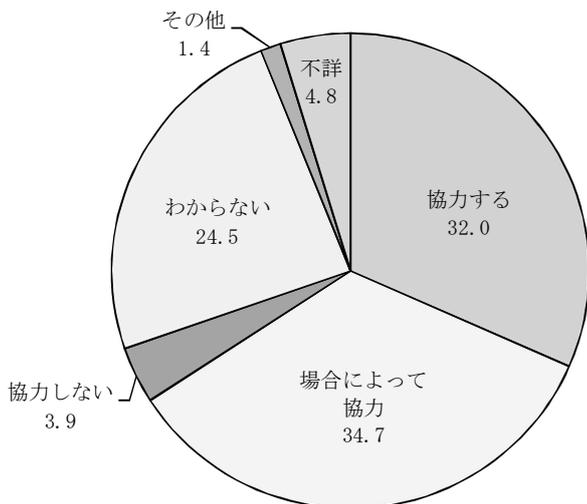
(3) 地域との共生の状況

地域との共生の状況について割合を見ると、「商工会議所・商工会又は商店街組合に参加している」が33.9%、次いで「祭りやイベント等商店街の共同事業に参加している」が27.4%となっている。



(図28) 廃食用油リサイクルへの協力の

意思別施設数の構成割合 (単位: %)



7 廃食用油関係の項目

廃食用油リサイクルへの協力の意思について割合を見ると、「場合によっては協力できる」が34.7%、次いで「協力する」が32.0%と全体の約6割を占めている。